

平成30年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
講座名	ものづくり革新・改善のための人材育成セミナー (1)品質管理：QC七つ道具、新QC七つ道具、統計的手法、実験計画法 ～データに基づく設計品質・製造品質・アフターサービス品質の向上～
実施日時	① 平成30年5月 9日（水） 18：00～21：00 ② 平成30年5月16日（水） 18：00～21：00 ③ 平成30年5月23日（水） 18：00～21：00 ④ 平成30年5月30日（水） 18：00～21：00 ⑤ 平成30年6月 6日（水） 18：00～21：00（計15時間）
募集定員	6人（申込者多数の場合最大12名程度まで）
募 集 対 象	対象職種：不問（講座名がものづくりになっておりますが、事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能です。） 受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて内容を調整）
注 意 点	ものづくり革新・改善のための人材育成セミナー(1)～(6)は企業などとの連携を通じて実際に現場改善に取り組む同一講師が全て担当しています。講座(1)～(6)の全てを受講することで、ものづくり改善に必要な知識を体系的に習得できますが、各講座を単独で受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは社会人を対象とした1年課程の「産業技術専攻科ものづくり改善コース」とも一部連携しています。現場の課題解決に具体的に取り組みたい方は専攻科の活用もご検討ください。
講 座 内 容	生産性・品質・安全性を向上するためには、現場から管理者まで様々なレベルにわたる人員の生産管理への理解、改善手法の習得、ものづくりに対する意識の変革が必要となります。本講座は、はじめて品質管理を学ばれる方、これから品質管理業務にたずさわる方、現在たずさわっている方を対象にQC七つ道具などの品質管理手法について学ぶだけでなく、現場からどのようにデータを採り、それをどのように活用するかまでについて学びます。また、受講生の方と講師だけでなく、受講生同士の対話を通して現場で発生している品質上の問題や課題等への対処方法についても具体的な検討を行います。
目 標	現場において品質管理の手法を活用し、品質改善に取り組む事ができる。 品質管理手法の使い方について現場作業員に対して教える事ができる。
履 修 項 目	①生産とは、品質管理の視点から考える ②品質検査、品質管理、品質保証の違い ③データのとり方・見方、平均とバラツキ ④QC七つ道具（層別、ヒストグラム、管理図） ⑤新QC七つ道具 ⑥平均値の差の検定 ⑦実験計画法 ⑧現場での活用方法（事例紹介）

使用装置 ソフト・ 図書等	特になし					
受講 費用	受講料：6,900円（15時間コース）					
	自己負担： 円（テキスト： 円・材料費： 円）					
講座費用	報償費	円	印刷製本費	円	材料費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
その他	<p>○セミナー全体の構成変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで生産改善を中心とした内容でしたが、効率化で得られた余裕をコスト削減だけでなく、付加価値のある製品づくりに活用できないかと考えています。そこで、これまで行なっていたものづくりカイゼンセミナーに製品開発の手法を学ぶ講座を設定し、「ものづくり革新・改善のための人材育成セミナー」としました。講座構成の変更は以下の通りとなります。 <p>(旧)品質管理⇒(新)「品質管理」</p> <p>(旧)生産管理Ⅰ・Ⅱ⇒(新)「生産管理」に統合</p> <p>(旧)人間工学・安全工学・保全⇒(新)「安全・保全」（産業用ロボットの安全追加） ⇒(新)「人間工学・UX」に分離</p> <p>(旧)コミュニケーションスキル向上 ⇒(新)「コミュニケーションスキル向上」</p> <p>(旧)ものづくりカイゼンの進め方 ⇒(新)「ものづくりカイゼンの進め方」</p> <p>○単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり革新・改善のための人材育成セミナーの(1)品質管理、(2)生産管理の2つを受講することで、機械システム系の生産工学への出席を免除する。但し、試験やレポートの提出を求める場合がある。 この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「統計・品質管理」の受講を一部免除する。 <p>○講師と講座について</p> <p>ものづくり革新・改善のための人材育成セミナーを担当する講師は大学・大学院で経営工学を専攻し、その後10年以上にわたり企業の生産現場などの改善に取り組んできています。また、このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などに基づき数年に一度大きな変更を加えながら10年以上開講し、延べ500人以上の方が受講しています。</p> <p>*例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を12名とした。</p>					